

工場内ニ集團シ各所ニ於テ過激ナル演説ヲ
操返シ時ニ勞働歌ヲ高唱示威運動ヲ行
フ等瓦斯勢ヲ示シ會社監督者ハ勿論其
他偵察員モ接近スルヲ得サルカノ状態ニ
リ然レトモ機械器物ノ毀損等ノ事實ハ更ニ
莫之モノニシテ職工ハ午後四時各退社シタルカ
敷津分工場ノ大部ハ職工ヲ誘導シ尚
本工場職工ノ一部ヲ加ヘ約二千名ハ一隊トナ
リ勞働歌ヲ高唱シナカラ本工場及社長永田
三十郎自宅前街路ヲ通過シ一部後方部
隊ハホイシヨクレト連呼シナカラ馳驅セルモアリ
シモ何事ナクシテ本日南區下幸町一丁目大蓮
寺ノ演説會場ニ向ヒタリ

(演説會場ハ別報ス)

二 交渉ノ經過 本要求ノ主要矣トセル第
一項團體交渉権ノ確認ハ會社側ニ於テ
賀川豊彦ノ提案ヲ大體ニ於テ同意シ其

他ノ条項ハ前回ト全權程度ノ回答ヲ與フル
答ナリシカ一應談回答ヲ職工側第二實行
委員ニ内示スル所アリシカ談委負連ハ之ニ
依リ異議ヲ挿サムルナキ又第一實行委員
及敷津分工場硬派分子ニ於テ不平ヲ絲ハ
之ニ應諾ヤサリシカ問答ノ焦莫トスル所ハ第
一項即チ交渉團體ノ確認ヲ得ル又第二項等
ノ關係ヲ顧慮シ今少シ内容ヲ明確ニセムコトヲ
要望シ尚第六項解雇手続金額ノ増額ヲ
希望スル向アリテ一致セサル所ハ會社ハ之カ回
答ノ余表ヲ躊躇シ居ルモノニシテ職工側ハ望
望ノ念ヲ起シ猶強硬ナル態度ニ依テ會社ヲ
認容ヲ迫ラムトスルモノナレハ會社側ハ引續キ
疑議ニ耽リ之カ對策ヲ確立スルニ至ラスニテ邊
巡回答スルニ至サルモ職工意思嚮如何ニ不拘明
八日午前中ニ回答ヲ與フル趣ナリ

三 友愛會ノ運動 友愛會大阪聯合會ニ於テ